

航空学生入隊式

4月6日(日)9時30分から海上自衛隊小月基地の体育館において第77期航空学生の入隊式が行われ、宇部支部から3名が参加しました。前夜の雨が心配されましたが、この日は朝から快晴。桜花爛漫で若人の船出をダブル、トリプルで祝福した。

入隊式は新入隊員54名、現職隊員11名、海上保安庁職員2名が参加。会場は国会議員、下関市長等の来賓をはじめ、海上幕僚長 齋藤聡海将、陸海空の近隣部隊長等のご臨席の下、一般の来賓のほか入隊者のご家族等多数が参加した。

入隊式では自衛官任命、服務の宣誓等の後、執行者の小月教育航空群司令 木内1等海佐が「入隊者諸官の勇氣と行動に感謝」と述べ、①誇りを持って②前へ進め③オールフォーワン、ワンフォーオール の3点を要望した。また、海幕長が①初心を忘れず誠実に取り組み②同期の絆を育め、と要望するとともに、今から50年前に入隊した第27期生の現職当時の御労苦を紹介し航空学生を激励した。御来賓の祝辞では江島潔参議院議員が我が国を取り巻く安全保障環境が年々厳しさを増している事に懸念を示すとともに、自然災害等にも迅速に対応する自衛隊に謝意を表した。また、下関市長 前田晋太郎氏は不安定な世界情勢を警戒するとともに、3市合同の防災訓練に協力している自衛隊に感謝の意を示した。

入隊式後、第1格納庫前のエプロンに場所を移し、観閲式、全国の海自航空部隊による祝賀飛行、航空学生の観閲行進、ホワイトアローズによる飛行展示、先輩航空学生によるドリル展示が行われた。来場者は凛々しい姿の観閲行進や様々な種類の航空機による祝賀飛行に感激するとともに、先輩航空学生の一糸乱れぬドリル展示等のアトラクションに魅了された。

12時45分からは屋内訓練場において祝賀昼食会が和やかな雰囲気の中で行われた。昼食会は昨年立食形式から趣向を変えて着座方式になり、来場者は落ち着いた環境で歓談していた。



(左)服務の宣誓を行う航空学生の代表者(中左)不動の姿勢で御来賓を待ち受ける航空学生。写真では解り辛いですが手前左側の2人は階級章が装着されていない、海上保安庁の職員(中右)式辞を述べる木内1等海佐(右)答礼する海上幕僚長



(左)入場するドリル隊 (中左)ダイヤモンド隊形のT-5。この後、ホワイトアローズによるアクロバティックな航空ショーが披露された (中右)海幕長の到着を待つ海幕長旗手。滅多に見られない四つ星の海上幕僚長旗 (右)。祝賀会食で祝辞を述べる航空集団司令官。下関市出身。海上自衛隊には数少ない将官のうち、山口県出身が2名在籍する。

第13旅団創立記念行事に参加

4月4日(金)9時から、第13旅団創立25・26周年記念行事 兼 海田市駐屯地創立74・75周年記念行事に2名が参加した。これは、コロナウイルスの5類移行後に初めて実施する部隊研修の一環として行われた。

